

第Ⅲ部 調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差を取り、「…ポイントの差」という表現を使っている。
- (注7) 男女の18～19歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (注8) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。

第1章 食・食育【問1～問5】

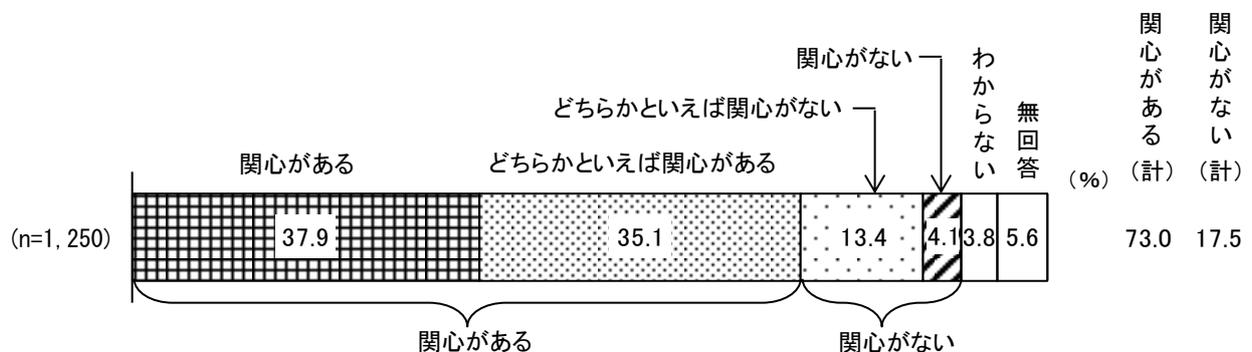
1 食育への関心【問1】

【全体の状況】

「食育」に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」(37.9%)と「どちらかといえば関心がある」(35.1%)を合わせた《関心がある》は73.0%となった。

一方、「関心がない」(4.1%)と「どちらかといえば関心がない」(13.4%)を合わせた《関心がない》は17.5%であった。(図表1-1-1)

図表1-1-1 食育への関心



【地域別の状況】

地域別にみると、《関心がある》は、横須賀三浦が79.2%で最も多く、次いで県西が76.2%となった。(図表1-1-2)

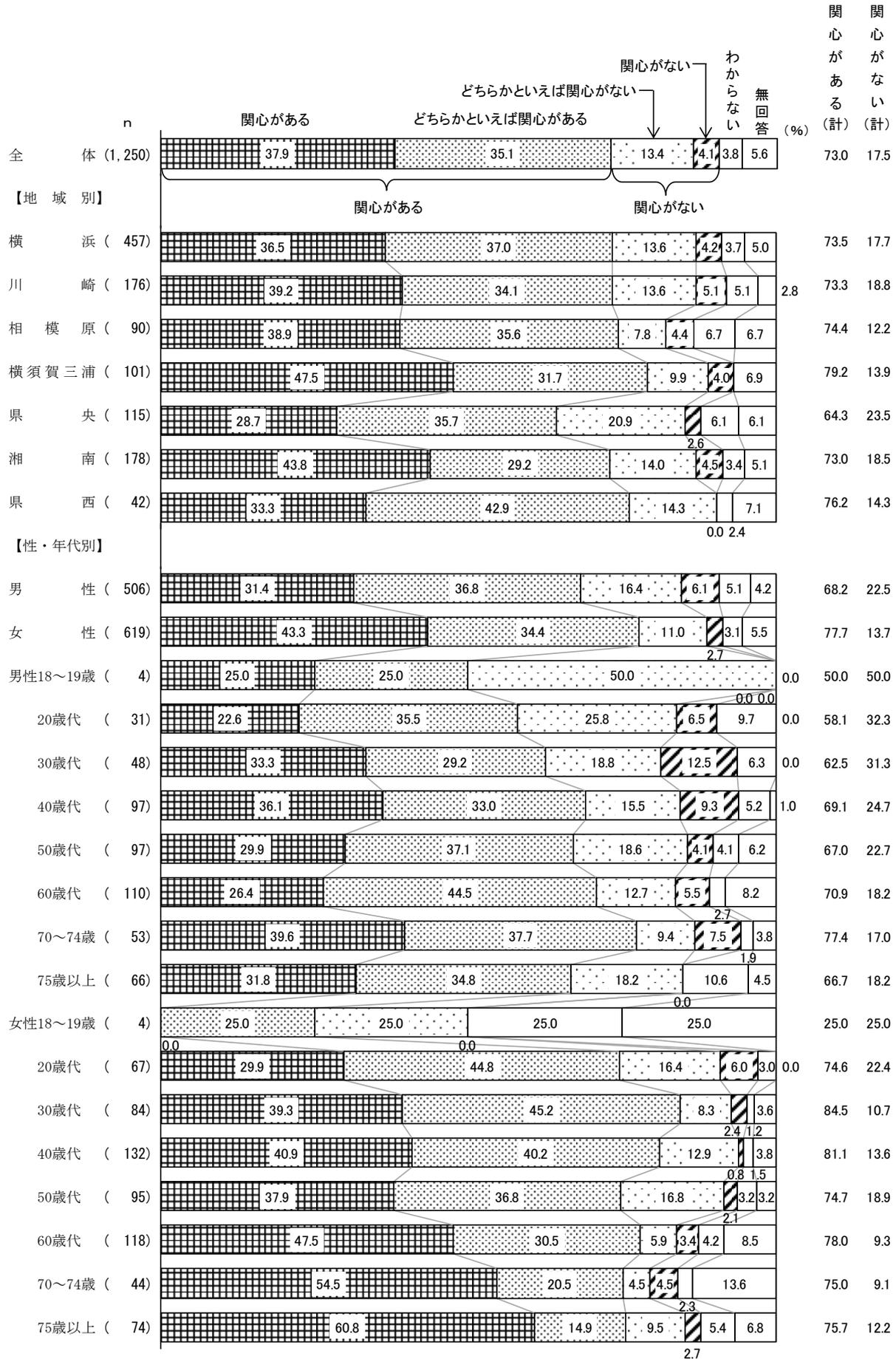
【性・年代別の状況】

性別にみると、《関心がある》は、女性(77.7%)が男性(68.2%)を9.5ポイント上回った。

性・年代別にみると、《関心がある》は、女性の30歳代(84.5%)・40歳代(81.1%)がともに8割を超えて多かった。

一方、《関心がない》は、サンプル数の少ない男性の18～19歳を除くと、男性の20歳代(32.3%)・30歳代(31.3%)がともに3割を超えた。(図表1-1-2)

図表1-1-2 食育への関心—地域別、性・年代別

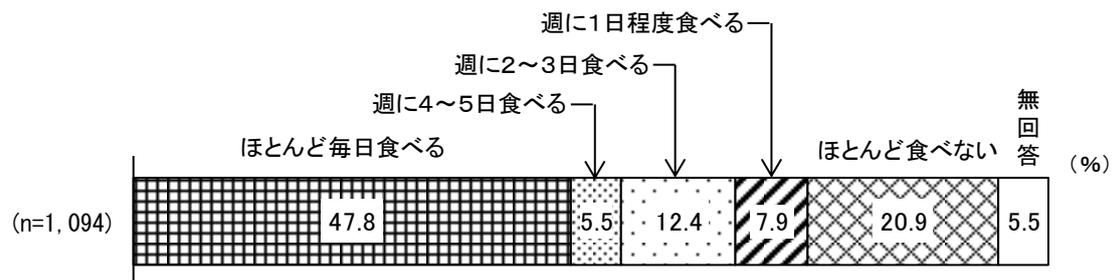


2 朝食を同居の方と食べる頻度【問2-1】

【全体の状況】

複数人でお住まいの1,094人に、朝食を同居の方と食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど毎日食べる」が47.8%で最も多く、次いで「ほとんど食べない」が20.9%であった。(図表1-2-1)

図表1-2-1 朝食を同居の方と食べる頻度



【地域別の状況】

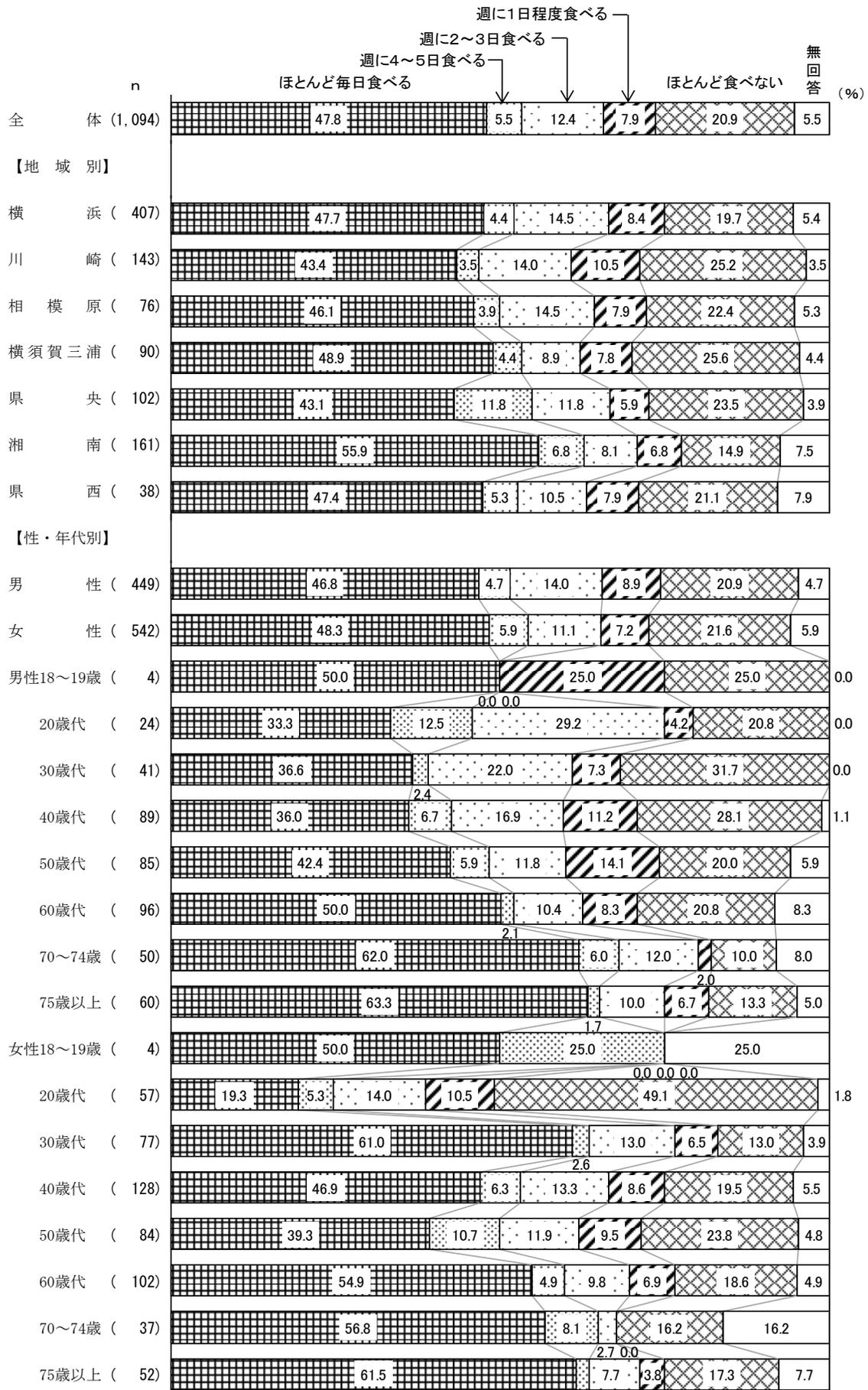
地域別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、湘南が55.9%で最も多かった。(図表1-2-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、女性(48.3%)が男性(46.8%)を1.5ポイントわずかに上回った。

性・年代別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、男女ともに75歳以上(男性63.3%、女性61.5%)が最も多かった。また、「ほとんど食べない」は、女性の20歳代が49.1%で最も多かった。(図表1-2-2)

図表1-2-2 朝食を同居の方と食べる頻度—地域別、性・年代別

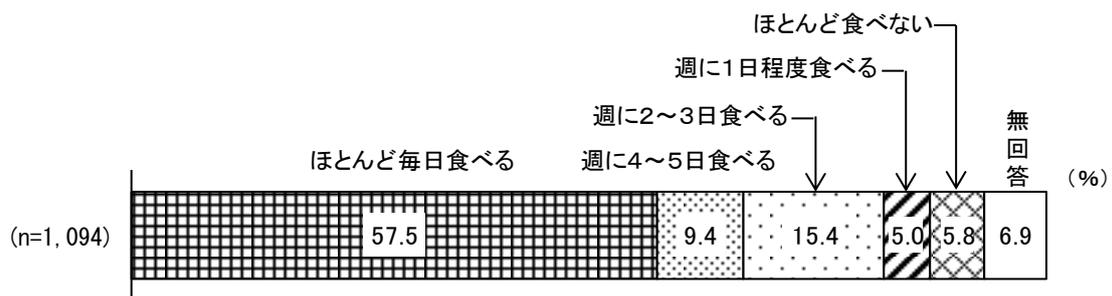


3 夕食を同居の方と食べる頻度【問2-2】

【全体の状況】

複数人でお住まいの1,094人に、夕食を同居の方と食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど毎日食べる」が57.5%で最も多く、次いで「週に2～3日食べる」が15.4%であった。(図表1-3-1)

図表1-3-1 夕食を同居の方と食べる頻度



【地域別の状況】

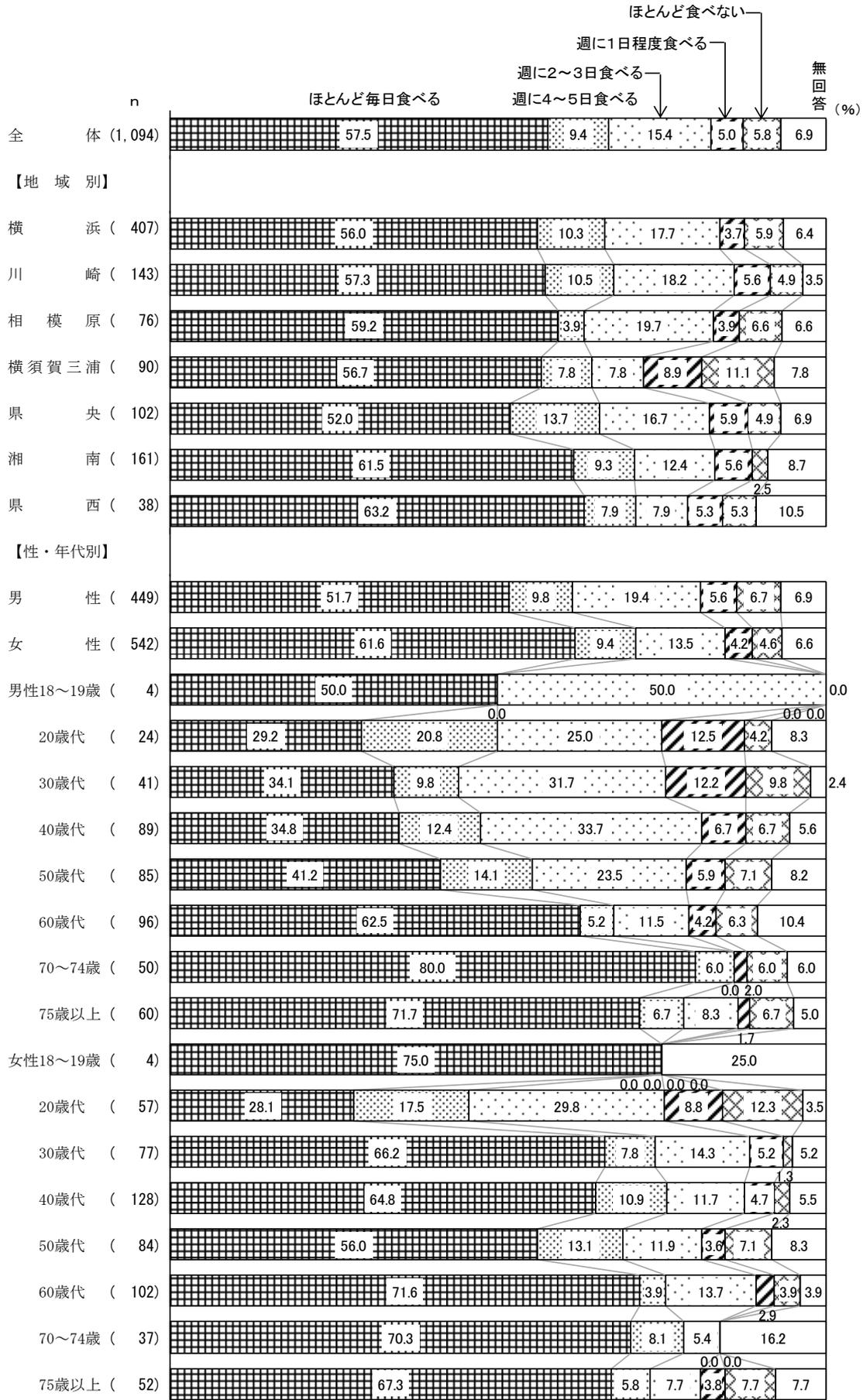
地域別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、県西が63.2%で最も多かった。また、「週に2～3日食べる」は、相模原が19.7%で最も多かった。(図表1-3-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、女性(61.6%)が男性(51.7%)を9.9ポイント上回った。「週に2～3日食べる」は、男性(19.4%)が女性(13.5%)を5.9ポイント上回った。

性・年代別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、男性の70～74歳が80.0%で最も多かった。また、「週に2～3日食べる」は、サンプル数の少ない男性の18～19歳を除くと、男性の30歳代(31.7%)・40歳代(33.7%)がともに3割を超えた。(図表1-3-2)

図表1-3-2 夕食を同居の方と食べる頻度—地域別、性・年代別

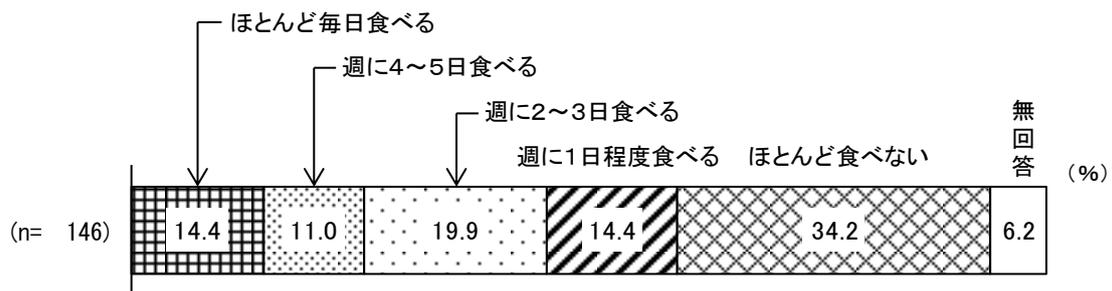


4 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度【問3-1】

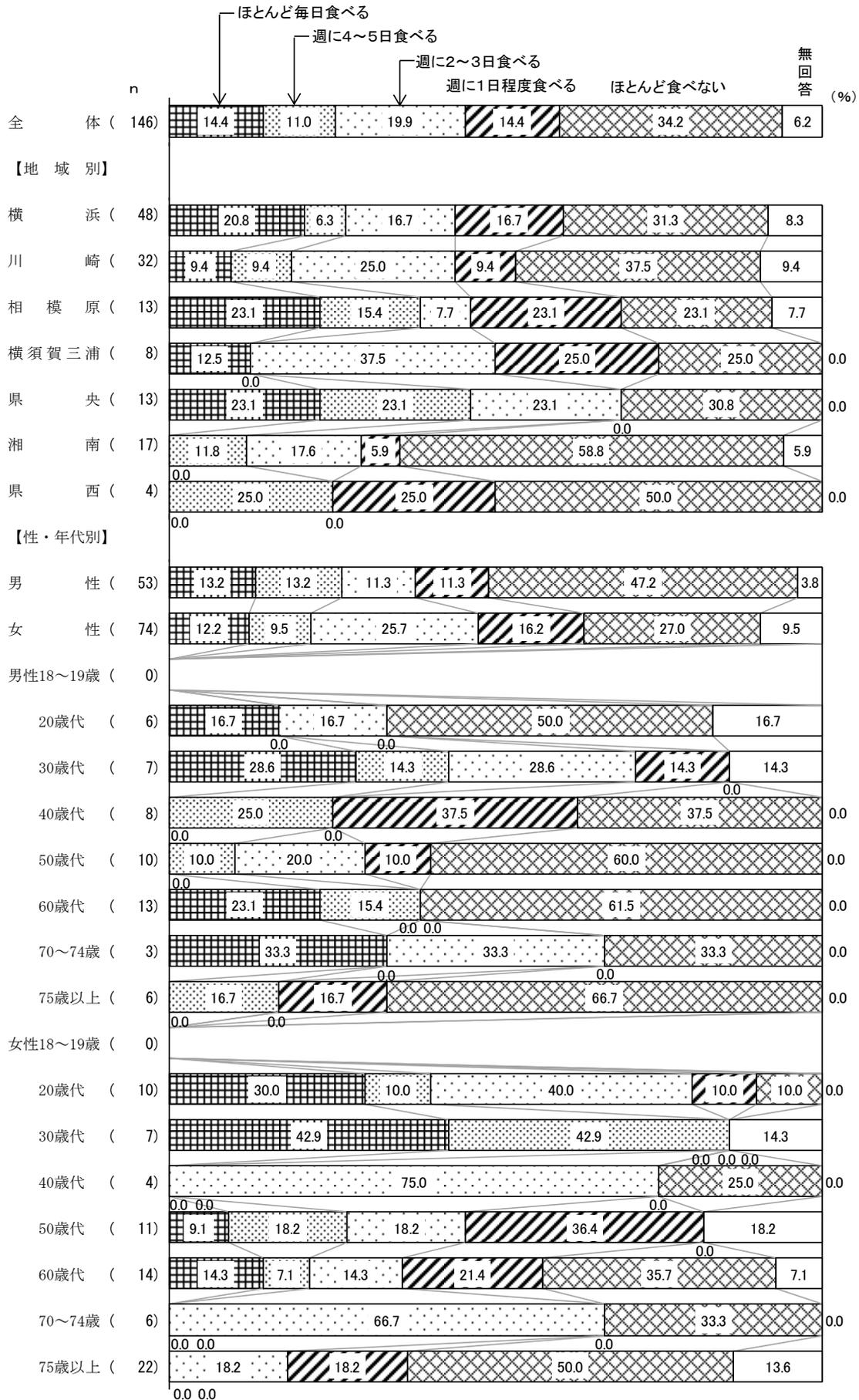
【全体の状況】

一人暮らしの146人に、昼食を仲間や友人など、複数人で食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど食べない」が34.2%で最も多く、次いで「週に2～3日食べる」が19.9%であった。(図表1-4-1)

図表1-4-1 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度



図表1-4-2 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度—地域別、性・年代別
(サンプル数が少ないため参考)

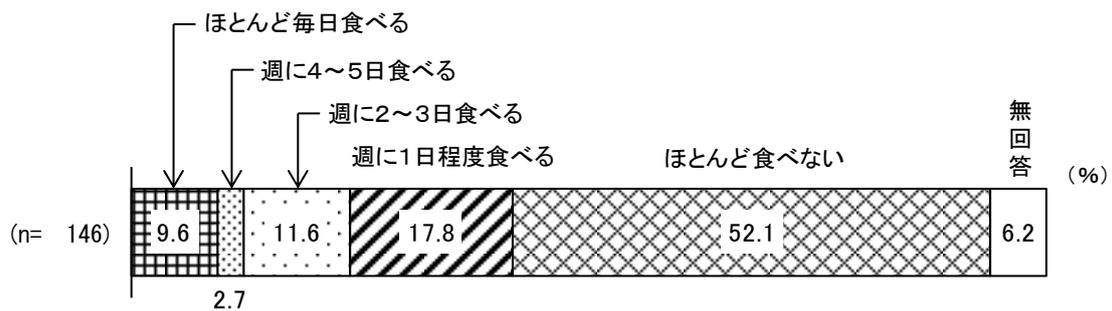


5 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度【問3-2】

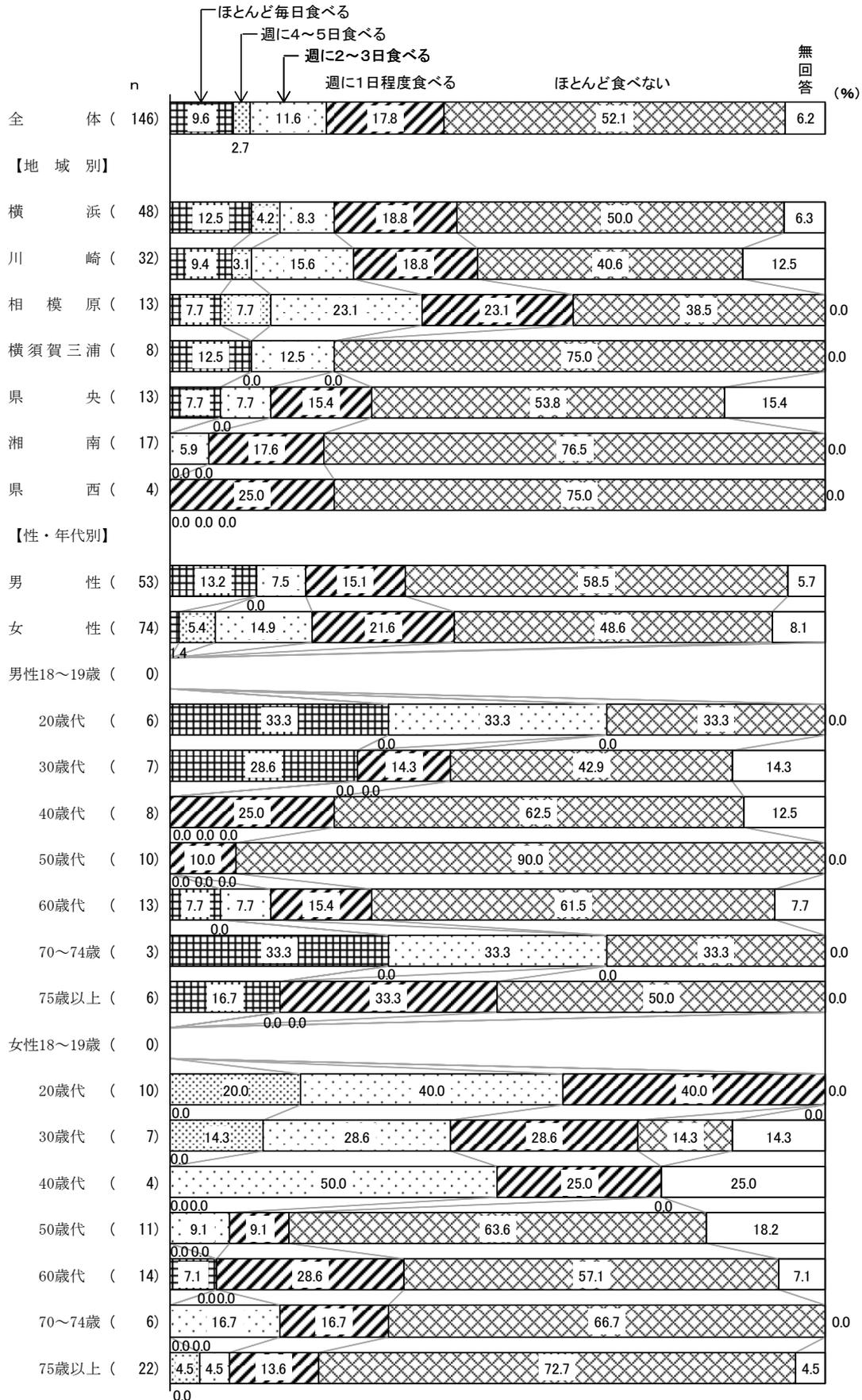
【全体の状況】

一人暮らしの146人に、夕食を仲間や友人など、複数人で食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど食べない」が52.1%で最も多く、次いで「週に1日程度食べる」が17.8%であった。(図表1-5-1)

図表1-5-1 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度



図表1-5-2 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度—地域別、性・年代別
(サンプル数が少ないため参考)

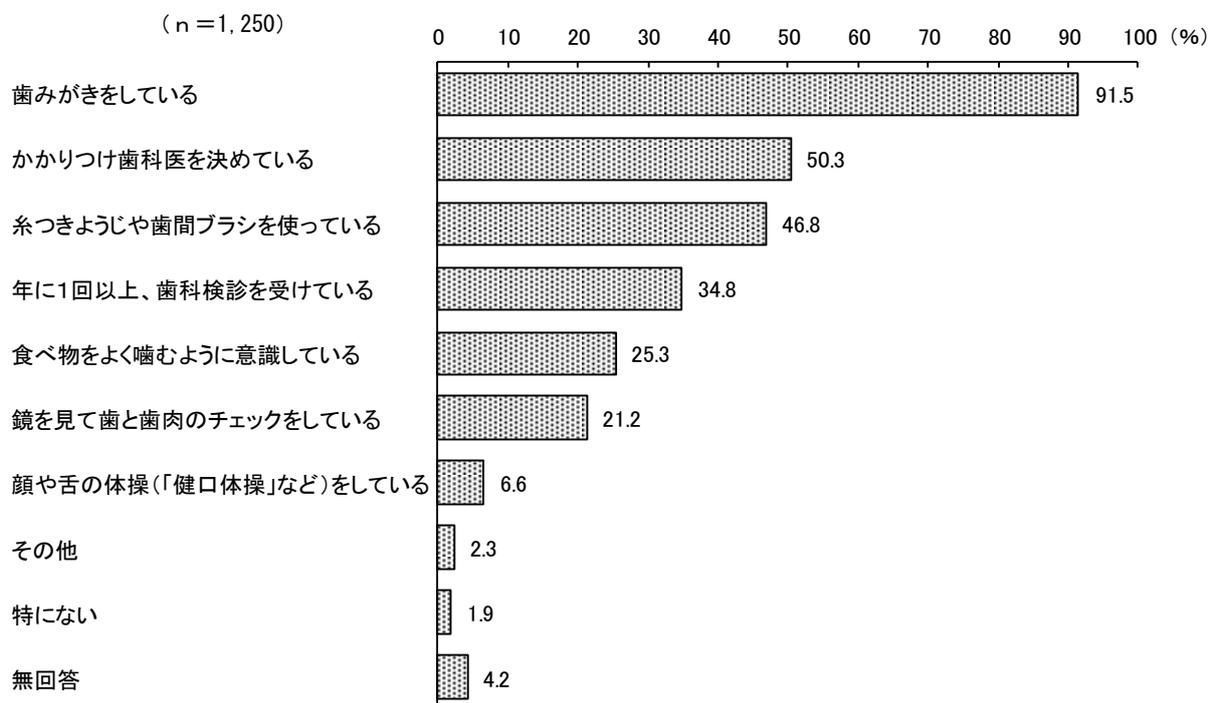


6 歯と口の健康を保つために気をつけていること【問4】

【全体の状況】

歯と口の健康を保つために気をつけていることを複数回答で尋ねたところ、「歯みがきをしている」が91.5%で最も多く、「かかりつけ歯科医を決めている」(50.3%)と「糸つきようじや歯間ブラシを使っている」(46.8%)が続いた。(図表1-6-1)

図表1-6-1 歯と口の健康を保つために気をつけていること（複数回答）



【地域別の状況】

地域別にみると、「歯みがきをしている」は、川崎(95.5%)、横浜(93.0%)、横須賀三浦(93.1%)がそれぞれ9割台で多かった。また、「かかりつけ歯科医を決めている」は、県西が54.8%で最も多く、次いで湘南が54.5%となった。「糸つきようじや歯間ブラシを使っている」は、横浜が51.9%で最も多かった。(図表1-6-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「糸つきようじや歯間ブラシを使っている」は、女性(54.1%)が男性(38.3%)を15.8ポイント上回った。また、「鏡を見て歯と歯肉のチェックをしている」は、女性(27.1%)が男性(13.8%)を13.3ポイント上回った。

性・年代別にみると、「かかりつけ歯科医を決めている」は、男女ともに75歳以上(男性65.2%、女性79.7%)が最も多かった。また、「糸つきようじや歯間ブラシを使っている」は、女性の50歳代(58.9%)・60歳代(61.0%)・70~74歳(59.1%)がそれぞれ約6割となった。(図表1-6-2)

図表1-6-2 歯と口の健康を保つために気をつけていること（複数回答）—地域別、性・年代別

(%)

	n	歯 みが が き を し て い る	か か り つ け 歯 科 医 を 決 め て い る	糸 つ き よ う じ や 歯 間 ブ ラ シ を 使 っ て い る	年 に 1 回 以 上 、 歯 科 検 診 を 受 け て い る	食 べ 物 を よ く 噛 む よ う に 意 識 し て い る	鏡 を 見 て 歯 と 歯 肉 の チ ェ ツ ク を し て い る	顔 や 舌 の 体 操 （ 「 健 口 体 操 」 な ど ） を し て い る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	1,250	91.5	50.3	46.8	34.8	25.3	21.2	6.6	2.3	1.9	4.2
【地 域 別】											
横 浜	457	93.0	49.7	51.9	33.9	24.3	19.9	6.8	1.3	1.8	4.6
川 崎	176	95.5	54.0	48.3	38.1	22.7	22.7	7.4	2.8	2.3	1.7
相 模 原	90	87.8	48.9	38.9	26.7	18.9	23.3	4.4	5.6	1.1	4.4
横 須 賀 三 浦	101	93.1	50.5	39.6	31.7	30.7	25.7	9.9	3.0	2.0	4.0
県 央	115	89.6	41.7	43.5	32.2	21.7	20.0	5.2	1.7	3.5	2.6
湘 南	178	89.3	54.5	46.6	42.7	32.6	21.9	8.4	1.7	2.2	4.5
県 西	42	88.1	54.8	40.5	31.0	26.2	11.9	4.8	7.1	-	4.8
【性・年代別】											
男 性	506	89.9	45.1	38.3	30.6	22.9	13.8	2.6	2.6	3.4	3.6
女 性	619	93.5	54.4	54.1	38.1	27.5	27.1	10.5	1.9	1.0	4.4
男性 18～19歳	4	75.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-
20 歳 代	31	87.1	19.4	25.8	12.9	25.8	22.6	9.7	3.2	12.9	-
30 歳 代	48	93.8	27.1	31.3	20.8	16.7	14.6	-	2.1	6.3	-
40 歳 代	97	93.8	46.4	35.1	33.0	16.5	11.3	-	2.1	3.1	2.1
50 歳 代	97	88.7	35.1	41.2	29.9	11.3	12.4	2.1	3.1	2.1	7.2
60 歳 代	110	89.1	49.1	41.8	32.7	19.1	14.5	3.6	1.8	2.7	6.4
70～74歳	53	90.6	60.4	49.1	34.0	32.1	9.4	1.9	1.9	-	3.8
75歳以上	66	86.4	65.2	37.9	37.9	50.0	16.7	4.5	4.5	3.0	-
女性 18～19歳	4	75.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0
20 歳 代	67	95.5	26.9	38.8	19.4	26.9	31.3	10.4	1.5	3.0	-
30 歳 代	84	95.2	38.1	54.8	33.3	15.5	32.1	6.0	1.2	1.2	3.6
40 歳 代	132	94.7	42.4	56.1	31.1	15.2	25.8	6.8	3.0	0.8	3.8
50 歳 代	95	93.7	62.1	58.9	42.1	24.2	29.5	8.4	4.2	2.1	3.2
60 歳 代	118	95.8	70.3	61.0	47.5	32.2	25.4	10.2	0.8	-	4.2
70～74歳	44	84.1	68.2	59.1	54.5	31.8	25.0	15.9	-	-	13.6
75歳以上	74	91.9	79.7	45.9	45.9	58.1	23.0	23.0	1.4	-	4.1

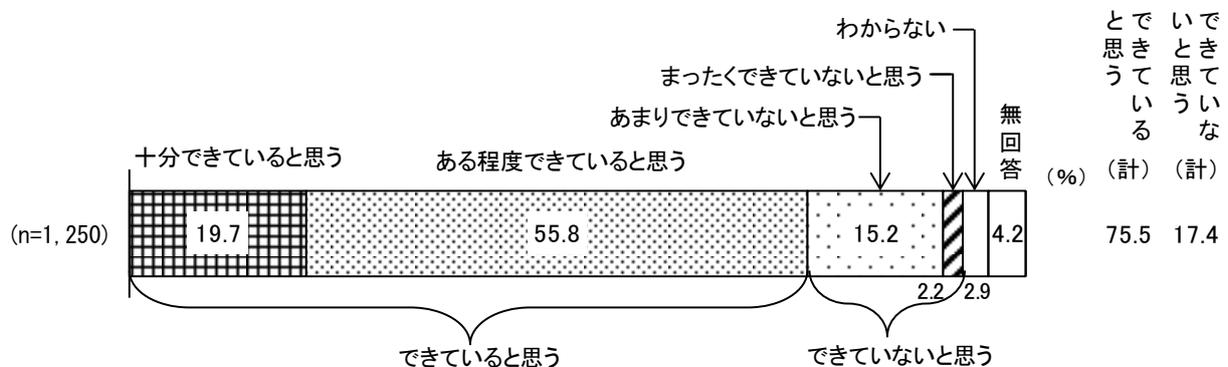
7 食事のマナーを正しくできていることへの意識【問5】

【全体の状況】

食事のマナー（いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など）を正しくできていると思うか尋ねたところ、「十分できていると思う」（19.7%）と「ある程度できていると思う」（55.8%）を合わせた《できていると思う》は75.5%となった。

一方、「まったくできていないと思う」（2.2%）と「あまりできていないと思う」（15.2%）を合わせた《できていないと思う》は17.4%であった。（図表1-7-1）

図表1-7-1 食事のマナーを正しくできていることへの意識



【地域別の状況】

地域別にみると、《できていると思う》は、横須賀三浦（83.2%）と相模原（80.0%）がともに8割以上で多かった。

一方、《できていないと思う》は、県西が26.2%で最も多かった。（図表1-7-2）

【性・年代別の状況】

性別にみると、《できていると思う》は、女性（81.9%）が男性（68.8%）を13.1ポイント上回った。

性・年代別にみると、《できていると思う》は、女性の75歳以上が87.8%で最も多かった。

一方、《できていないと思う》は、男性の60歳代が37.3%で最も多かった。（図表1-7-2）

図表1-7-2 食事のマナーを正しくできていることへの意識—地域別、性・年代別

